



優秀賞



全国都市緑化かわさきフェア 会場計画等実施設計及び植物監理

株式会社ライフ計画事務所

立川直樹・金子隆行・加藤直人・塚本浩史・中村 葵

株式会社あい造園設計事務所

鈴木 綾・菊池俊一郎・米澤知巳・本間理子（元所員）

関根千那望

株式会社 総合設計研究所

大瀧英知・加藤雄介・大石佳奈・小山田和心

秋・春の2期開催を実現

第41回全国都市緑化かわさきフェアは、川崎市市制100周年記念事業のコア的事業として、また、緑化フェアとしては初めてとなる秋・春の2期開催を実現しました。

川崎らしい会場づくり

富士見公園、等々力緑地、生田緑地を3つのコア会場とし、各エリアの特性を踏まえて設定したコンセプトを具現化した会場づくりを行いました。

CLA 会員3社 JV による業務実施体制

3社による共同企業体（JV）を構成し、3つの会場それぞれを担当しながら、フェア全体を統一させるため常に連携を図りました。また、デザイナーとの協働や学生ワークショップとの連携、既存活動団体と協働した装飾制作等、独自性のあるコンテンツ制作にも、各社の強みを活かして取り組みました。

作品概要

作品名	全国都市緑化かわさきフェア会場計画等実施設計及び植物監理
所在地	神奈川県川崎市内（富士見公園・等々力緑地・生田緑地 他）
発注	川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
設計	ライフ計画・あい造園・総合設計共同企業体
設計協力	株式会社Q-GARDEN／NENOUWASA／有限会社 緑花技研
監理	第41回全国都市緑化かわさきフェア実行委員会（会場整備等） ライフ計画・あい造園・総合設計共同企業体（植物監理）
施工	第41回全国都市緑化かわさきフェア植物調達協議会
設計期間	2023年6月～2024年6月
施工期間	会場基盤整備等業務（2024年4月1日～2025年6月30日） 花壇植栽等業務（2024年5月14日～2025年6月30日）
規模	面積（富士見公園17.0ha、等々力緑地43.5ha、生田緑地117.4ha 他）
主要施設	富士見公園会場（メインガーデン／垂直花壇／農と自然のガーデン／庭園展／自治体出展花壇／修景花壇 等） 等々力緑地会場（Active Garden／Active Garden's／パレットの花壇／ロングボーダーガーデン／修景花壇 等） 生田緑地会場（竹のエントランスゲート／藍と霧のメタセコイア／思い出のカナール（ばら苑） 等）
開催期間	秋会期 2024年10月19日～11月17日（30日間） 春会期 2025年3月22日～4月13日（23日間）

作品評

全国都市緑化かわさきフェア（以下、「本事業」という。）は、川崎市の3会場において、秋・春の2回開催する事業である。本作品は、「会場計画」、「出展展示」、「会場運営」、「交通輸送」、「協働推進」、「営業参加」、「行催事」の事業推進に必要な会場実施設計である。

応募者はきびしい設計工程に対応するために、CLA 会員3社による共同事業体を構築し、各社の強みと相乗効果を活かして業務に取組んだ。3会場は、「多様性×みどり」、「体験・体感×みどり」、「文化・歴史×みどり」をテーマとする。本作品の特色は、秋・春2回の開催期間における季節変化に応じた会場づくり、会場ごとに異なるコンセプトの具体化、市民参加の取組み、市内造園事業者等で構成する「植物調達協議会」による一貫した実施体制との連携があげられる。

本事業は目標来場者数160万人を上回った。3会場で2期開催という困難な条件のもと、3社はそれぞれの強みを生かし、互いに協力しあってきびしい工程を克服して目標達成に貢献した。本事業で成し遂げた3社の功績に対して賛辞を惜しまない。



①富士見：メインガーデン「Colors, Future Garden」（春）②等々力：メインガーデン「Active Garden」（秋）③生田：藍と霧のメタセコイア（秋）④富士見：メインガーデン（秋）⑤富士見：ライトアップされた工場モチーフ（秋）⑥富士見：自治体出展花壇（春）⑦等々力：正面広場花壇&ゲート（春）⑧等々力：ロングボーダーガーデン（春）⑨等々力：木陰のレスト空間（春）⑩生田：竹のエントランスゲート（秋）⑪生田：藍と霧のメタセコイア（秋）⑫生田：協働の「花づくり・花かざり」（ばら苑）（秋）

「多様性×みどり」富士見公園会場・エリア

工場群を模した大型装飾物やその先の広大な花畑で表現した「メインガーデン」は、再編整備を終えた新しい富士見公園のエントランス広場全体を大胆に活用しました。多様なスタイルの出展展示に対して配置や基盤、設備等の設計を行いました。

「体験・体感×みどり」等々力緑地会場・エリア

再編整備を控える等々力緑地では、木製パレットを活用した仮設・可動の花壇を施しました。五感をテーマとし、触れて、遊んで楽しめる体験型コンテンツを織り交ぜ、ニューノーマルな屋外の楽しみ方・過ごし方を提案する展示としました。

「文化・歴史×みどり」生田緑地会場・エリア

歴史や文化を学び楽しむ活動を展開し、人と自然のつながりを大切にしました。地域資源やアート作品、歴史的建物と調和させることで、自然を感じる機会を作り、協働の担い手を育み、緑地の保全と利用の好循環を進められる展示としました。

花壇設計・監理

同一ガーデナーが3会場の花壇設計と植物監理を一貫して行い、2期開催に伴う季節変化や現場状況の変更等に柔軟に対応しました。また、植物ボランティア協働や学校参加の花苗作り等の市民総参加型のみどりの取組みとも連携しました。